

林野庁長官賞

ブランド材“東濃松”を使った産地の顔が見える家づくりをめざして  
－多彩に普及活動展開・主要な地場産業形成－

東濃ひのきと白川の家建築協同組合（理事長 田口奮治）

□事業体の構成

建築業者36

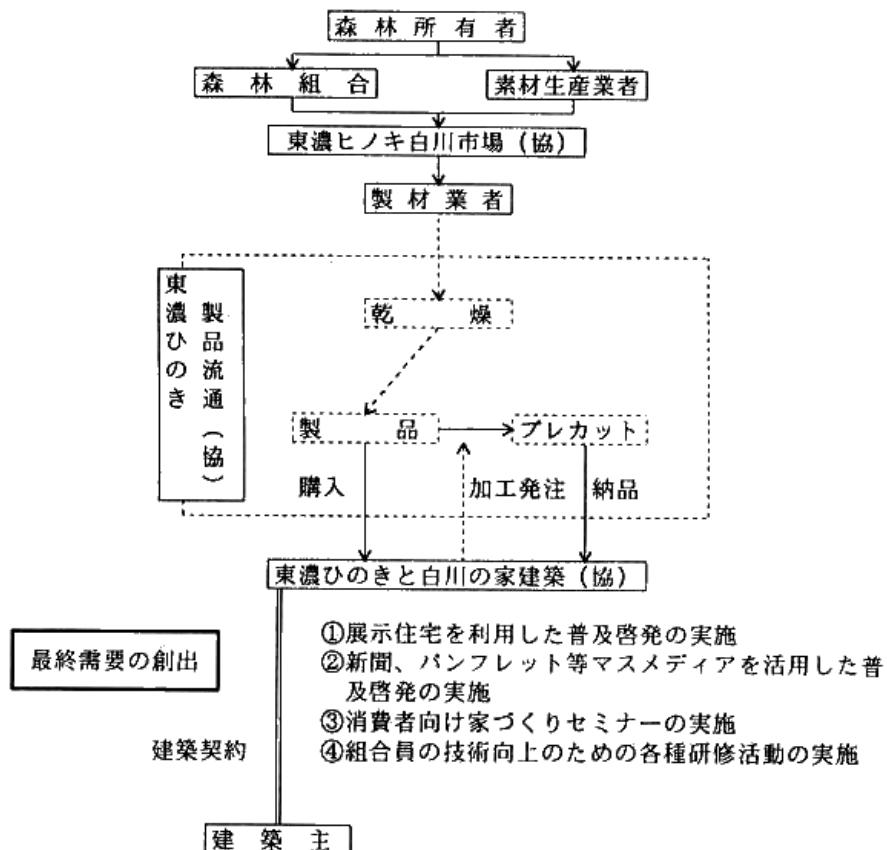
〒509-1113

岐阜県加茂郡白河町三川385-1

TEL 05747-2-1382 FAX 05747-2-1382



□事業の仕組み



## 1. 地域の概要

町土の88%が森林であり、古くから積極的に造林を進められた結果、人工林率は56%に達し、樹種別比率ではヒノキが85%の比率を占め、ブランド材である「東濃桧」の主産地となっている。また、この豊かな資源を地域経済の基盤とするため、林道等生産基盤の整備、生産設備の近代化等に積極的に努めている。これら充実した生産体制の下、地域には原木市場（1施設）、木材製品センター（1施設）、製材業者（27社）、建築業者（46社）があり、林業、林産業が地域の主要産業となっている。

## 2. 事業内容等

### 1. 事業の目的

森林所有者から木材製材業者、大工・工務店までの一連のネットワークを構築することで、木造住宅の供給コストの低減や、ブランド材である東濃桧主体の在来軸組み住宅の建設を促進し、地場産業である林業・林産業の振興に資する。

### 2. 事業の内容

- ①展示住宅を利用した普及啓発の実施
- ②新聞、パンフレット等マスメディアを活用した普及啓発の実施
- ③消費者向け家づくりセミナーの実施
- ④組合員の技術向上のための各種研修活動の実施

### 3. 施設の整備状況

1. モデルハウス1棟（平成11年度中に新たに2棟設置）
2. 建築技能施設（会員による職業訓練法人を設立及び運営）

### 4. 事業の実績

別表のとおり。

### 5. 事業の成果

地域の主要な地場産業として協同組合設立以後、4千戸近くの産直住宅を建設しており東濃桧のブランド化の促進はもとより、林業・林産業の振興に寄与した。

### 6. 今後の取組み

低コストで、高品質な住宅づくりに努めるとともに、消費者ニーズを的確に掴んだきめ細かな供給体制づくりを目指している。

また、モデルハウスの設置等により積極的な普及啓発に努め、いわゆる「産地の顔が見える家づくり」など地域ぐるみの産業として振興していく。

(別表)

種別	平成8年度 実績	平成9年度 実績	平成10年度 実績
建築戸数	334	328	414
売上高	100	98	124

特記事項：同町内の「濃白川大工の会」と合併したため、平成10年度の建築実績は両組合の合併提案実績を計上